



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



今年度の校内研究

10月16日(水) 公開研究会!

「校内研究」は、学校において、子供たちによりよい学習の機会を提供するため、私たち教職員が、授業改善に向けて、共同で取り組んでいく研究です。教職員が研究に努めなければならないことは、法律によって規定されています。※教育基本法、教育公務員特例法

道志中学校の学校教育目標は「社会に貢献しながら、自立する生徒の育成～気づき、考え、実行する～」です。



今年度の校内研究は「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」を主題とし、「組織でWEBQ U等を活用した安定と活性化を通して」を副題として、学校教育目標の実現に向けて授業改善を図っていくこととしました。



また、昨年度から、道志村(道志小学校及び道志中学校)では、山梨県教育委員会の支援を受け、令和のやまなし教育活動モデル推進事業を実施しています。イェナプラン的教育(自立学習者の育成)をテーマとして掲げ、ICTを最大限に生かして、自発的に学び、多様な他者と関わりながら学ぶ生徒が



育つ学校を目指しています。

私たちは、生徒の実態を捉え、より望ましい方向に導くためにはどうすればよいのか、試行錯誤を繰り返しながら研究を推進しています。その研究の成果の一端を、昨年度に続いて、学校教育に関わる皆様を招いて「公開研究会」として披露します。これは、研究の成果は、生徒の変容した姿に現れると考えるからです。そして、生徒の良さや課題を明らかにして、授業や学校の改善をさらに推進していきたいと考えています。

さらに、「校内研究」によって、個々の教職員の力量が、協働して取り組む教職員集団を醸成し、『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿「教師の主体的な姿勢」につながることを願っています。

どうぞ、日頃の授業の様子について、ご家庭でも話題にしてみてください。

授業に集中して 家庭学習を 充実させよう!

第1回教達検(10.3)が終了しました。よく「学習習慣が大切だ」と言いますが、その通りです。勉強は習慣です。私は、学力向上には、4つのキーワード“**素直・マメ・集中力・持続力**”があると考えます。以前、『やまゆり』でもお伝えしましたが、その続きです。

1つ目の“**素直**”とは、学習に対する取り組む姿勢のことを指します。各教科担当の先生方のアドバイスに、素直な気持ちで耳を傾けることです。学力向上の第一歩はここからです。授業もこの姿勢で臨みましょう。

ただ、これは、学習(学問)を極めれば極めるほど“自分なりの考え”が芽生えて、変容していきます。これを、クリティカルシンキング(批判的思考)とも言ったりもします。(次号以降に続く)